

## ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立大津小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活科	もっとなかよし町たんけん ～大津のステキを見つけよう～	地域の人・地域の施設(商店・酪農家・神社・コミセン等)
ねらい		地域の様々な場所を訪問し、人々とふれあうことを通して、自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活は様々な場所や人と関わっていることに気づくとともに、地域の場所や人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。	

### 1 取組の概要

- 1) 春の探検で見つけた場所等の中から、行ってみたい場所や聞いてみたいこと、見てみたい物、してみたいことを考え、探検に出かける計画を立てる。
- 2) グループで町探検に出かけ、素敵などころやひみつを見つける。
- 3) お礼の手紙を書く。
- 4) 自分たちが見つけたことの中から保護者や友達に知らせたいことを選び、伝える方法を考え、台本作りなど発表の準備をする。
- 5) 発表会を開き、探検先のステキやひみつを保護者や他の場所を探検した友達に伝える。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) 探検先は、児童の希望の中から、子ども達の生活と関わりのある場所を意図的に選んで出かけるようにすることで、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気づけるようにする。
- 2) 1人1人が訪問先の方と関わるができるように事前に打ち合わせをする。
- 3) 自分たちが見つけた「大津のステキ」を伝える場を設定する。お互いが見つけた大津の良さを知ることで、みんなが地域のために思いをもって仕事をしておられることに気づき、地域の人々に親しみや愛着をもてるようにする。



(学力育成の視点から)

- 1) 地域の人々と関わる活動を通して、コミュニケーション力の向上を目指す。事前に準備や練習をすることで、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いができるようにする。
- 2) お礼の手紙を書くことを通して、手紙を書く際の丁寧な表現を学び、思いを伝える力を伸ばす。
- 3) 話を聞いたり、インタビューをしたり、実際に体験をさせてもらったりと、その場所に行った子だけの特別な体験活動をするすることで、人々の思いや訪問先のステキを知り、みんなに伝えたいという意欲が向上するようにする。



**3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）**

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

訪問先の地域の方から直接話を聞いたり、体験をさせてもらったりと温かく対応していただいたことで、児童はたくさんの「大津のステキ」を発見することができ、ふるさと大津への愛着が深まった様子だった。探検で行った先に家族でもう一度出かけたりする姿も見られた。

（学力育成の視点から）

- 1) 地域の方との関わりを通して、相手意識をもち、場に応じた言葉遣いで話すことができるようになってきた。また、積極的にコミュニケーションを図る姿も多く見られた。
- 2) お礼の手紙を書いたことで、お世話になった方に手紙を書く際のマナーや丁寧な表現について学ぶことができた。また、体験が充実したものだったため、思いの伝わる手紙を書くことができた。
- 3) 見つけたステキの中から自分たちで伝えたいことや発表方法を選び、台本を書き、練習して学習公開日に発表したことで、児童の表現力が高まった。また、探検の際に自分たちでタブレットを持って行って動画や画像を撮ってくるようにし、発表の際にも使いたい物を選んで使うようにしたため、ICT活用の力も伸ばすことができた。

**4 課題や今後の展望**

職員や保護者に協力してもらい、何とか複数の大人がついて8か所の探検先に安全に行くことができたが、保護者の参加が少なく、かなり多くの職員に協力をお願いすることになった。少人数で充実した探検をするためには探検先の数を減らすことは難しいため、この点が課題である。今後も大津のよさがさらに感じられるような新たな探検場所を探し、増やしていく必要もあると考える。